

(別添資料1)

事業所名

児童発達支援センターやまがき園

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

27 日

法人（事業所）理念		1. げんき 元気よくあいさつができ、すこやかなこどもになろう。						2. なかよく みんなとなかよくできるこどもになろう。		3. がんばろう できる喜びを知り、いろんなことに挑戦していくこどもになろう。			
支援方針		1. げんきよく体を動かし、丈夫な体をつくる あいさつを通し、コミュニケーションの大切さを知る						2. 人とかかわりを遠し、思いやりの気持ちを育む		3. いろんなことに取り組み、達成する喜びと自信を持つ			
営業時間		9 時		0 分から		16 時		30 分まで		送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・体温や食事量、排泄時間、睡眠時間などを把握し、健康面に留意して定期的に登園できるよう支援します。 ・定期的に聴覚検査を実施し、きこえについての状態を把握しながら、言語面の支援に繋がります。 ・定期的に発達検査やチェックリストを行ない、発達上のニーズを把握します。 ・睡眠・食事・排泄・衣類の着脱など基本的な生活習慣や、身支度・準備・片付けなど生活に必要なスキルが身に付くよう支援します。 ・施設内で調理された給食を提供し、道具を使って食事をしたり、いろいろな物を食べられるよう支援します。											
	運動・感覚	・いろいろな運動を経験し、体力をつけたり、様々な動作を獲得できるよう支援します。 ・感覚遊びや五感を味わう活動などを通して、様々な感覚を経験し、少しずつ苦手な感覚にも慣れていけるよう支援します。 ・微細運動面を向上させ、食事道具や筆記具の使用に繋がります。 ・戸外での活動も取り入れ、たくさんさんの動作や感覚を経験できる課題を設定します。											
	認知・行動	・理解できる物事を増やすことで、お話を聞いて行動することや、相手とのやりとりの向上に繋がります。 ・色概念や対概念、時間の概念などの基本的な概念を獲得できるよう教具や絵カードなどを使用して支援します。 ・場面に合った適切な行動を獲得できるよう支援します。											
	言語 コミュニケーション	・言語聴覚士からの助言も受けながら、正しい発音を獲得できるよう支援します。 ・様々な意思伝達手段で自分の思いを伝えられるよう支援します。 ・いろいろな人と言葉でのやりとりができるよう支援します。 ・言葉を組み立ててお話ししたり、質問に答えたりして、言葉でのやりとりができるよう支援します。 ・物と名称、行動を動作語、感情と言葉が一致できるよう支援します。											
	人間関係 社会性	・指導員や職員と信頼関係を築き、安心して通える環境を設定します ・遊びの発達段階に合わせた玩具や環境を設定し、協調した遊びができるよう支援します ・遊びやソーシャルスキル・トレーニングを通し、集団活動への参加やルールの理解、相手と自分の気持ちを理解できるよう支援します。 ・相手の話を聞き、着席して課題に取り組むなどの課題姿勢を獲得できるよう支援します。											
家族支援		・家庭や集団生活における困りごとなどに関する相談援助 ・ペアレント・トレーニングなど家族の学びの場の提供 ・お子さんへの関わり方についての相談援助 ・きょうだい児への相談援助 ・保護者同士の交流の機会の提供(就学後の情報交換会の実施など)						移行支援		・家族への情報提供 ・進路や移行先への選択についての相談援助 ・移行先との調整			
地域支援・地域連携		・お子さんに関わっている関係機関との連携 ・相談支援事業所や他事業所との連携 ・担当保健師等との情報連携 ・地域のお子さんが集団活動に参加したり言語等についての個別相談ができる「あそびのひろば」の実施 ・障害児通所支援事業所の連絡会の実施						職員の質の向上		・日々のミーティング等や月1回以上のケース会議での情報共有 ・基礎知識、虐待防止、衛生管理等に関する研修への参加と報告会の実施 ・専門分野のスキルアップのための勉強会の実施			
主な行事等		お誕生会(毎月)、内科・歯科健診(年2回)、親子遠足(春・秋)、七夕会、夏祭り、運動会、クリスマス会、もちつき会、豆まき会、ひなまつり会、お別れ会、卒園式、園外活動、保護者会(年2回)											